

山行NO NO. 1802  
日時 2018. 09. 23 (日・晴れ)  
山域 阿弥陀岳 (2805m) 南稜～中央稜  
コース 舟山十字路口発5:45-キノコ道-南稜-立場山7:55-青ナギ8:10-無名峰8:44-三峰ルンゼ9:20-阿弥陀岳10:05~30-中央稜-下の沢12:00 (昼食)~30-舟山十字路口13:23  
標高差 上り 舟山十字路口約1620m~阿弥陀岳2805m=約1185m  
下り //

## 久しぶりの南稜に痺れた

舟山十字路口発5:45。物凄い車。ほとんどが「キノコ採り」。  
キノコ採りのオジサンと出発。  
最近人が多くて採れないという。「両手くらい」と聞けば、「片手  
がいいところ」だった。ただ、実際は殆どゼロ。



キノコおじさん

オジサンに南稜の近道を教えて貰った。その道は、キノコ道だ。  
堰堤の下を通り、急登をこなすと南稜に出た。本来のルートに比べると  
三分の一だろう。

山には、「チンチロ・チンチロ」と鈴の音が響く。キノコ採りだ。  
何処かのオジサンが上から降りて来た。聞けば、「全く駄目」と  
言いながらも、「松茸」を一本見せてくれた。

ここで採れるのは本来「枵茸」(つがだけ)。しかし、オジサンのは本当の「松茸」だった。  
イイ香りが漂った。「松茸ご飯」ですかと聞いたら、「お吸い物」がイイと答えた。

気持ち良い南稜の登山道を上る。  
全く荒れていない。  
何故、こんなにキレイなのか不思議だ。

強いていえば、バリエーション故、登山者が少ないことか。  
周りは柵の森が延々と続く。  
目障りなのは、柵茸盗難防止のワイヤーがあることだ。



松茸

下を見ながら上っていて、ハッと気が付いたら、何処かの  
オジサンが立っていた。朝、舟山十字路で駐車場を指示して  
くれた方だった。  
我々より早く出ていたが追いついた。休憩中で何かを食べていた。  
挨拶をして年齢を確認したら、「1940年生まれ」だった。  
私よりかなり多かった。

聞けば、本宅は藤沢で別荘がこちらにあるそうだ。南稜はいつも上っているという。  
しかも単独である。登山は60歳からという。  
失礼だがこの年齢で、よくやるな~と思った。三峰のルンゼは  
ザイルなしで上るのか??そこまでは聞かなかった。



〇さん

更に聞くと一時、長泉に住んでいたことがあったそうだ。  
お名前は〇さんだった。前後しながら再び上り出す。立場山を過ぎ、青ナギ  
を越えて無名峰に着いた。阿弥陀岳が大迫力で迫る。天気は良く秋空が高かった。  
ここに女性1名を含む、若者3名いた。



青ナギ

彼らは三峰まで行くと、ルンゼでなく、正面の岩尾根で遊んでいた。  
ただ、最後まで上る気はないようだ。そんな訳で我々が今日のトップに立った。  
今日の南稜は、3パーティー・6名だった。



三峰で遊ぶ若い衆

三峰のルンゼに着いた。  
水が少し流れていた。状態が良いのでザイルは出さなかった。  
もう少し季節が進むと、ベルグラ（氷）が張り悪くなる。  
ルンゼは、火山特有の岩。一枚岩にこぶし大の岩がボコボコと出ている。  
岩は長年浸食され、しっかりしているので安定している。  
超快適に上る。最近、岩らしい岩をやっていないので、  
思わずハイテンションになった。



三峰ルンゼ

ルンゼを抜けて再び南稜に出て、安定した所で大休憩。目を凝らすと  
赤岳と中岳頂上に登山者が溢れていた。皆、山が大好きなのだ。  
そのうち、先ほどの若い衆が三名上って来た。  
聞けば、3名は別々の所に住み、山行時、道の駅とかで集合し来るそうだ。

所属山岳会はなし。特に必要性は感じていないようだ。そのような  
時代なのか。下山後、会った諏訪の若い衆も無所属で、山行時だけ  
仲間と上るといふ。

我々の時代は下山後、飲んだり馬鹿ッ話を大事にしたが、現代はそのような  
しがらみは嫌われるかも知れない。これでは、山岳会がいくら声を大に  
組織拡大・拡大と叫んでも、なかなか入会者は増えない。  
理屈ではなく、そんな時代なのだと感じた。



赤岳と中岳

若い衆三人とテラスで休んでいると、〇さんもやって来た。厳しい上りで足が震えていたというが、気が付かなかった。若い衆にも〇さんの年齢を伝えると驚いた。

テラスからひと上りで阿弥陀岳着。約4時間半でまあまあ。南稜は直接頂上に上れるので気分はサイコー。好天もあいまって、多くの登山者で賑わっている。南稜出口にアベック（古い！！）が座っていた。突然現れた闖入者に驚いた様子。誰かが「南稜・南稜」といっていた。頂上には阿弥陀様が祀ってある。手を合わせ「世界平和・安全登山・自然保護」に深謝。

〇さんもやって来て一緒に休憩。軽く食べる。御小屋尾根から沢山上って来る。下山は、御小屋にするか、中央稜にするか考えた。キノコを採るなら御小屋尾根。スッキリ下るなら中央稜。結局、中央稜を下った。上部は柵茸の採取地といわれる。下って行くと、下から何人か上って来た。一人はキノコ採りだったが、収穫はナシといった。

中央稜の上部は可なり急。半分から歩き易い道。下り切って沢で昼食。静かでイイ。駐車場に着くと、諏訪の方が、ジゴボウ（鼻猪口）を沢山採って来た。御小屋尾根を下ったそうだ。やっぱりね・・・だった。今回もイイ山だった、ハッは近くてイイ山。有難いデス。



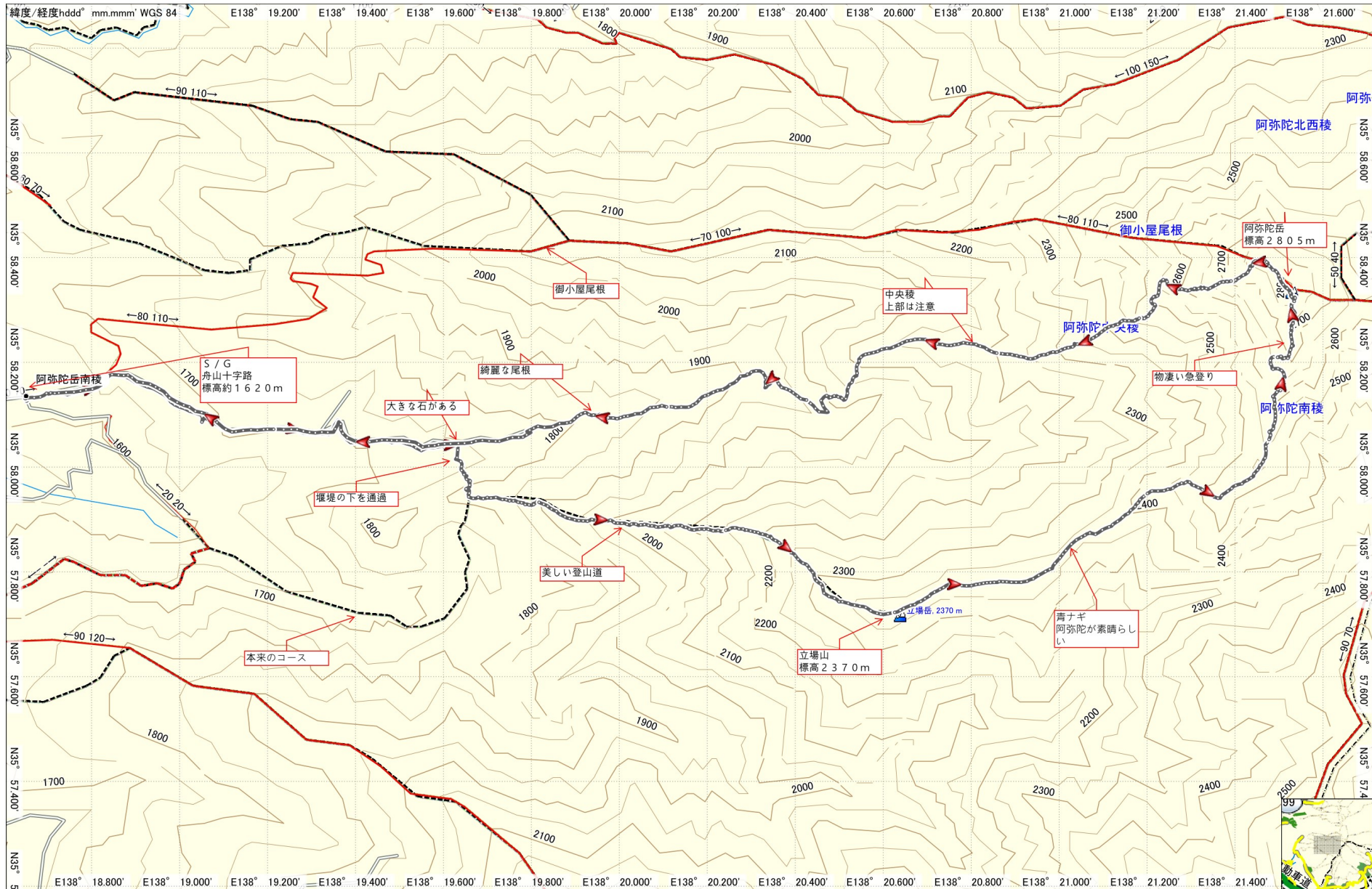
中央に若い衆が三名見える（赤いザック）



バックは権現岳



阿弥陀岳頂上



Japan Topo 10M Plus V3  
 Copyright © 2014  
 Garmin Corporation 1995-2014

2018/09/24 5:32:26



GARMIN



2010/01/01